

# 労働組合会計の勘定科目設定

シンシステムデザイン <http://www.ssdesign.co.jp>

労働組合らくらく会計”は、通常の複式簿記の仕訳を行うだけで、貸借対照表と収支計算書が作成できます。勘定科目はほぼ自由に設定できますが、正常な会計処理を行うためには、次の点に注意しながら科目の設定や変更をしてください。

## 科目の属性

勘定科目の設定画面を開くと、次のような画面になります。

科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
10000	I. 資産の部	9	1	0					
11000	1. 流動資産	3	1	0					
11010	現金預金	1	1	0					
11020	現金	0	1	0	1		1		
11030	預金1	0	1	0	1		1		
11040	預金2	0	1	0	1		1		
11050	預金3	0	1	0	1		1		

- FlgA,B,C... は勘定科目の性格を決める重要な属性となります。らくらく会計では、これを科目のフラグ（旗）といいます。

### 【注意】

- 仕訳伝票は科目コードでデータ処理をしていますので、運用途中での科目の変更は、慎重に行ってください。
- この設定を間違えると正常な会計処理が出来なくなります。

### 科目の属性

FlgA	0=仕訳科目 1=小科目計 2=(大)計 3=大計 4=区分計 5=借方合計、貸方合計 9=コメント
FlgB	1=貸借対照表科目 2=収支科目
FlgC	0=借方科目 1=貸方科目
小科目	1=小科目
補助科目	1=補助科目
FlgG	1=流動資産、流動負債のうち支払資金に関する科目 110, 120, 119 繰越金に係るフラグ 収支仕訳の場合は、次の2~14のフラグは不要 2=固定資産 12=固定資産見返勘定（正味財産の部） 3=積立預金 13=積立金（正味財産の部） 4=退職給与引当預金 14=退職給与引当金（負債の部）
FlgH	収支仕訳の場合は、次のフラグは不要 21~50=収支科目との連携フラグ

- フラグの数値はシステムで演算する際に使いますので既定値を変更しないでください。

## 科目編集の基本操作

### 科目の挿入

挿入したい場所の一つ下にカーソルポインタを移動させて「+」をクリックしてください。

### 科目の削除

削除したい場所にカーソルポインタを移動させて「-」をクリックしてください。

### 変更の確定

▲を押すか、他の行にカーソルポインタを移動すると、レコードの編集内容が確定します。

### 変更の確定

「レ」または、カーソルポインタを他の行に移動してください。



## 科目の整列順

### 勘定科目 (B/S P/L 科目)

科目コードの番号順に整列します。科目コードは 5 桁の数値です。

科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
▶10000	I. 資産の部	9	1	0					
11000	1. 流動資産	3	1	0					
11010	現金預金	1	1	0					
11020	現金	0	1	0	1		1		
11030	預金 1	0	1	0	1		1		
11040	預金 2	0	1	0	1		1		
11050	預金 3	0	1	0	1		1		
11060	預金 4	0	1	0	1		1		
11070	預金 5	0	1	0	1		1		
11210	未収組合費	0	1	0			1		
11220	未収金	0	1	0			1		
11230	立替金	0	1	0			1		
11240	短期貸付金	0	1	0			1		
11250	仮払金	0	1	0			1		
11260	前払金	0	1	0			1		
11270	有価証券	0	1	0			1		
11500	* 諸 口 *	0	1	0			1		
12000	2. 固定資産	3	1	0					
12100	(1)有形固定資産	2	1	0					
12110	土地	0	1	0					
12120	建物	0	1	0					
12130	構築物	0	1	0					

科目を挿入したい場合は、科目コード順に整列するので、挿入したい場所の前後の番号を入れてください。

## 勘定科目の名称変更

科目名の欄にカーソルを移動させて、科目名をしてください。

例) 預金1 ⇒ チューリップ銀行

11010	現金預金
11020	現金
11040	チューリップ銀行(7654321)
11060	預金2
11080	預金3

## 科目の挿入

- 科目挿入をしたい位置の一つ下にカーソルポインタを移動して、「+」をクリックしてください。次の例のように、一行の空白が出来ますので、ここに新しい科目を入れて下さい。
- 勘定科目の科目コード  
科目コードは前後の科目コード間の数値で決めてください。  
科目コードが重複するとエラーになります。番号を詰めてしまうと以後は挿入が出来なくなりますので、余裕を持った科目コード付けをすすめます。
- 科目名を入れ、FlgA,FlgB,FlgC等を入れます。

<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <span>◀</span> <span>▶</span> <span>+</span> <span>-</span> <span>↙</span> <span>✓</span> <span>✕</span> </div> <div style="text-align: right;"> <span>科目印刷</span> <span>補助</span> </div> </div>									
資金収支科目へのコードジャンプ <span>前方検索</span> <span>後方検索</span>									
勘定科目(B/S P/L)					資金収支の科目(C/F)				
科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
11000	流動資産		3	1	0				
11010	現金預金		1	1	0				
11020	現金		0	1	0	1	1		
11030	預金1		0	1	0	1	1		
11031	預金2		0	1	0	1	1		
11032	預金3		0	1	0	1	1		
11033	預金4		0	1	0	1	1		
11034	預金5		0	1	0	1	1		
*									
11080	受取手形		0	1	0		1		
11090	未収会費		0	1	0		1		

## 勘定科目の削除

- 削除したい科目の位置にカーソルポインタを移動して、「-」をクリックしてください。
- 確認表示の後に、削除が実行されます。
- 既に仕訳で使用した科目は削除しないで下さい。削除すると正常な会計処理が出来なくなります。

## 小科目の設定方法

- 次の例は「現金預金」に小科目を設定した例です。
- 「現金預金」科目の FlgA を「1」にします。
- 次の例では現金～預金5までの合計金額が「現金預金」に集計されます。

科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
11000	1. 流動資産	3	1	0					
11010	現金預金	1	1	0					
11020	現金	0	1	0	1		1		
11030	預金1	0	1	0	1		1		
11040	預金2	0	1	0	1		1		
11050	預金3	0	1	0	1		1		
11060	預金4	0	1	0	1		1		
11070	預金5	0	1	0	1		1		
11090	未収金	0	1	0				1	
11100	立替金	0	1	0				1	
11110	短期貸付金	0	1	0				1	

### 【補足事項】

- ・ 収入科目や支出科目に小科目を付けた場合は、その小科目に予算をいれてください。
- ・ 小科目の集計科目には仕訳入力出来ません。
- ・ 資金科目と連携する科目は、資金収支科目にも同様な小科目を設定してください。

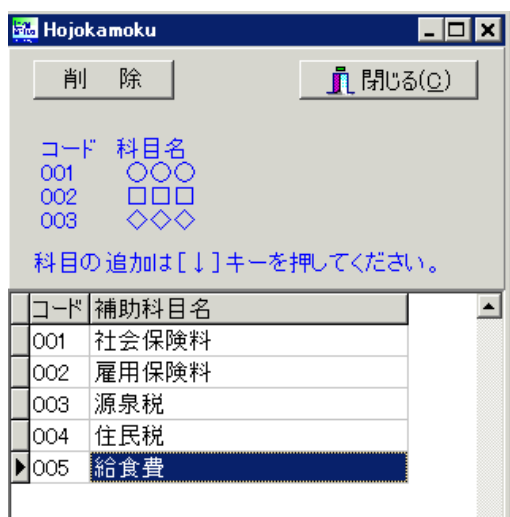
## 補助科目設定

### 補助科目の設定

- 補助科目を付けたい科目の「補助科目」に1を入れると行が赤色にかわります。

科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
21300	1年以内返済サビズ区分間長期借入金	0	1	1					50
21320	1年以内支払長期未払金	0	1	1					51
21340	未払費用	0	1	1			1		
21360	預り金	0	1	1		1	1		
21500	職員預り金	1	1	1					
21520	職員預り金(所得税)	0	1	1	1		1		

- この行でダブルクリックをすると、次のような補助科目の設定画面が出ますので、補助科目を入れてください。
- 補助科目コードは、001からの連番で設定してください。一科目について最大999補助科目まで設定できます。



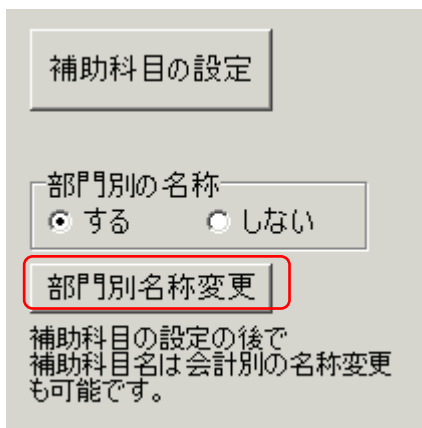
- 補助科目の名称は、全科目に共通する名称になりますが、会計部門固有の名称にしたい場合は、次の”部門別名称変更”のボタンを押して名称変更をしてください。

#### 【補足事項】

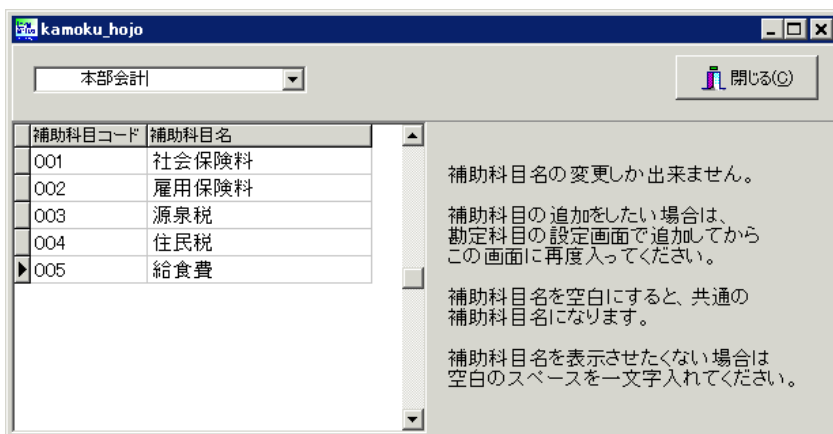
- ・ 補助科目には、予算の入力が出来ません。
- ・ 補助科目を付けた科目は、仕訳の入力で必ず何れかを選択してください。  
もし、該当しないものがあると予想される場合は、999 その他 を入れてください。
- ・ 繰越金が必要のないP/L科目では、補助科目よりも“摘要名集計”が便利です。

## 部門別の補助科目名

- 勘定科目は、すべての部門で統一名称になりますが、補助科目は唯一部門ごとに独自の補助科目名にすることが出来ます。
- しかし、部門別の独自の名称にたくない場合は、“部門別の名称”を「しない」に選択して、勘定科目の設定画面を閉じると、すべての部門の補助科目名は統一されます。
- 部門別の名称変更は、下記のボタンを押してください。



- 部門別の名称変更は、この画面で行ってください。



### 【補足事項】

- ・ 補助科目を設定したのちは、“会計別の名称が優先されます。” “勘定科目の設定” で設定した名称に戻りたい場合は、“部門別名称変更” のボタンを押して補助科目名を空白にして画面を閉じると元に戻ります。

## 複式仕訳を行う場合の科目設定

### 「複式仕訳」を選択した場合

部門登録を行う時にこれを選択すると、収支仕訳に固有な「切替仕訳」が不要になります。

勘定科目のひな型選択

- 収支仕訳・貸借型
- 収支仕訳・報告型
- 複式仕訳・貸借型
- 複式仕訳・報告型

- FlgG = 2 固定資産及び固定負債  
 3 積立資産  
 4 引当資産  
 12 固定資産・固定負債の見返勘定  
 13 積立金  
 14 引当金

FlgH = 21 ~ 50 収支科目との連会

勘定科目									
科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
12100	(1)有形固定資産	2	1	0					
12110	土地	0	1	0			2	21	
12120	建物	0	1	0			2	21	
12130	構築物	0	1	0			2	21	
12140	車両・運搬具	0	1	0			2	21	
12150	什器備品	0	1	0			2	21	
12160	建設仮勘定	0	1	0			2	21	
12200	(2)その他の固定資産	2	1	0					
12210	借地権	0	1	0			2	21	
12220	電話加入権	0	1	0			2	21	
12230	敷金	0	1	0			2	21	
12240	保証金	0	1	0			2	21	
12250	投資有価証券	0	1	0			2	21	
12260	出資金	0	1	0			2	21	
12270	退職給与引当預金	0	1	0			4	24	
12280	〇〇積立預金	0	1	0			3	25	
18000	資産合計	4	1	0					

科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
22000	2. 固定負債	3	1	1					
22010	長期借入金	0	1	1			2	41	
22020	退職給与引当金	0	1	1			14		
28000	負債合計	4	1	1					
29000			1	1					
31000	Ⅲ. 正味財産の部	9	1	1					
31010	1. 固定資産等見返勘定	3	1	1					
31020	固定資産等見返勘定	0	1	1			12		
31030	2. 積立金	3	1	1					
31040	積立金	0	1	1			13		

科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
56000	固定資産売却収入	3	2	1					
56010	固定資産売却収入	0	2	1				21	
56020	固定資産売却益	0	2	1					
57000	引当預金取崩収入	3	2	1					
57010	退職給与引当預金取崩収入	0	2	1				24	
57500	積立金取崩収入	3	2	1					
57510	積立金取崩収入	0	2	1				25	
58000	長期借入金収入	3	2	1					
58010	長期借入金収入	0	2	1				41	

80000	固定資産取得支出	3	2	0					
80010	固定資産取得支出	0	2	0				21	
81000	退職給与引当預金支出	3	2	0					
81010	退職給与引当預金支出	0	2	0				24	
82000	積立金積立支出	3	2	0					
82010	積立金支出	0	2	0				25	
83000	長期借入金返済支出	3	2	0					
83010	長期借入金返済支出	0	2	0				41	

上記の設定を行うことにより

例えば、器具及び備品 を購入した場合通常の複式簿記の仕訳を行うだけで、貸借対照表と収支計算書に正常に計上されます。詳細は、別紙説明書の「仕訳例」を読んでください。

器具及び備品 / 現金預金

#### 収支仕訳を選択した場合

固定資産支出や借入金収入などがあった場合は、貸借対照表に計上するために、切替仕訳を行ってください。勘定科目には、特別な Flg を立てる必要はありません。

勘定科目のひな型選択

- 収支仕訳・貸借型
- 収支仕訳・報告型
- 複式仕訳・貸借型
- 複式仕訳・報告型